

農業ブルドーザの活用モデル

1 背景・目的

農業ブルドーザは牽引力が強く、整地作業に優れており、かつ、各種作業機も装着できるため、建設業のみならず農業分野でも活用が期待される。さらに耐久性にも優れており、トラクタと置き換えることで機械費の低減が見込まれる。このため、農業ブルドーザの活用モデルと、その導入による機械費の低減効果を検証する。

2 技術のポイント

- (1) 農業ブルドーザを農業と建設業で共同利用することで、農業分野に係る機械費がトラクタ利用に比べ 1/3 となる(図)。
- (2) 農業ブルドーザの適正な利用時間は年あたり 200 時間であり、作付け面積では 50ha に相当する(データ省略)。



図 トラクタ利用体系およびブルドーザ利用体系に係る機械コスト

3 成果の活用と残された問題点

- (1) 均平・畔倒しなどを受託することによる収益拡大が期待される。
- (2) 農繁期と建設業の繁忙期が大きく重なる場合などは事前の作業調整が必要である。

問合せ先：作物栽培グループ TEL076-257-6911
 担当者：中田敏朗・永島秀樹

本研究は、農林水産省予算により農研機構生研センターが実施する「革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト）」により実施した